

注意

- a. 解答はこの用紙に直接記入して、提出すること。
 b. 配点はそれぞれの問題のところにしめしている。合計 100 点満点である。

問題 1 [4 点]. $A = \{0, 1\}$, $B = \{x, y\}$ とする。

zpts (i) 直積 $A \times B$ を求めよ。
 $A \times B = \{(0, x), (0, y), (1, x), (1, y)\}$

zpts (ii) べき集合 2^A を求めよ。
 $2^A = \{\emptyset, \{0\}, \{1\}, \{0, 1\}\}$

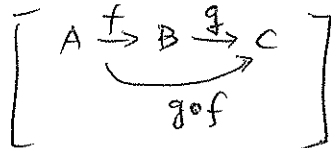
問題 2 [6 点]. 写像 $f: A \rightarrow B$ と $g: B \rightarrow C$ を全射 (上への写像) とする。合成写像 $g \circ f: A \rightarrow C$ を $(g \circ f)(a) = g(f(a))$ で定義する。このとき、 $g \circ f$ が全射であることを証明したい。以下の空欄を埋めて証明を完成せよ。

「任意の $c \in C$ にたいして、ある $a \in A$ が存在して、 $(g \circ f)(a) = c$ となる」ことをしめせばよい。

いま $c \in C$ とする。 g が全射であることから、ある $b \in B$ が存在して、 $g(b) = c$ となる。一方、 f が全射であることから、ある $a \in A$ が存在して、 $f(a) = b$ となる。

以上により、任意の $c \in C$ にたいして、 $(g \circ f)(a) = g(f(a)) = g(b) = c$ となるような $a \in A$ が存在することがいえた。

END. 空欄には以下のいずれかが入る: $f, g, f(a), g(b), a \in A, b \in B, c \in C$.



問題 3 [6 点]. 以下の真理値表を完成せよ。 $\neg((\neg p) \vee q)$ の値にならって、各演算記号 $\neg, \wedge, \Rightarrow$ の下に対応する値を記入し、それぞれの命題式の (最終的な) 真偽の組み合わせを長丸で囲め:

p	q	$\neg((\neg p) \vee q)$	$\neg(p \wedge (\neg q))$	$(\neg q) \Rightarrow (\neg p)$
0	0	0	0	1
0	1	0	0	1
1	0	1	1	0
1	1	0	0	0

問題 4 [14 点]. 選択肢 A, B, C にたいする 13 人のひとひとの選好が以下で与えられている:

- 6 人: ABC
 2 人: BCA
 5 人: CAB

たとえば「6 人: ABC 」は 6 人が選択肢を A, B, C の順に好むという意味である。

(i) 選択肢 A のボルダ・スコアは 17 点である。選択肢 B, C のボルダ・スコアを計算し、ボルダ・ランキング (CBA などの順序) を求めよ。

	Borda Score
A	$12 + 5 = 17$
B	$6 + 4 = 10$
C	$2 + 10 = 12$

Borda Ranking: ~~BAC~~ , ACB

(ii) ランキング ABC のコンドルセ・スコアは $v_{AB} + v_{BC} + v_{AC} = 11 + 8 + 6 = 25$ 点である。ランキング CBA のコンドルセ・スコアを計算せよ。

Condorcet score of CBA

$= v_{CB} + v_{BA} + v_{CA}$

$4 = 5 + 2 + 7 = 14 \text{ points}$

問題 5 [16 点]. N を要求者の集合とする。配分基準 F がペア整合的である (pairwise consistent) とは、任意の有限 (要求者) 集合 $I \subseteq N$, I 上の任意の問題 (τ, a_0) , そして任意の 2 人の (要求者) 集合 $\{i, j\} \subseteq I$ について、以下の 2 条件が成り立つことである:

- (1) If $a \in F(\tau, a_0)$, then $(a_i, a_j) \in F((\tau_i, \tau_j), a_i + a_j)$
 (2) If $a \in F(\tau, a_0)$ and $(b_i, b_j) \in F((\tau_i, \tau_j), a_i + a_j)$, then $c \in F(\tau, a_0)$, ただし c は以下で定義される配分: $c_i = b_i, c_j = b_j$, その他の $k \in I \setminus \{i, j\}$ については $c_k = a_k$.
 いま

$F((\tau_1, \tau_2, \tau_3), 2) = \{(0, 1, 1)\}$

とする。後述の (i), (ii) の主張が正しくなるように空欄を以下のいずれかで埋めよ: $(0, 0)$, $(0, 1)$, $(1, 0)$, $(1, 1)$, $(0, 1, 1)$, $(1, 0, 1)$, $(1, 1, 0)$, である ではない。

(i) 条件 (1) から以下がいえる: $(0, 1) \in F((\tau_1, \tau_2), 1)$

$(0, 1) \in F((\tau_1, \tau_2), 1)$

$(0, 1) \in F((\tau_1, \tau_3), 1)$

$(1, 1) \in F((\tau_2, \tau_3), 2)$

(ii) いま $(1, 0) \in F((\tau_1, \tau_3), 1)$ とする (τ のサブスクリプトに注意)。このとき条件 (2) から

$(1, 1, 0) \in F((\tau_1, \tau_2, \tau_3), 2)$

がいえる。したがって F はペア整合的ではない

問題 6 [20 点]. 量 $a_0 = 400$ だけある分割可能な種類の財を個人 A, B, C に配分したい. ただし, 請求権 (要求権, claims) のリストは $c = (c_A, c_B, c_C) = (100, 200, 300)$ で与えられている. 問 (ii), (iii) の解答は, $a = (a_A, a_B, a_C)$ の形で配分を表せばよい.

10 (i) シャープレイ値 (random priority method) による配分を, 以下の表を完成させることにより求めよ. (解答は $500/6$ といった過分数でよい.)

Ordering	Amount Received		
	A	B	C
ABC	100	200	100
ACB	100	0	300
BAC	100	200	100
BCA	0	200	200
CAB	100	0	300
CBA	0	100	300
Total	400	700	1300
Shapley Allocation	$400/6$	$700/6$	$1300/6$

[2400]

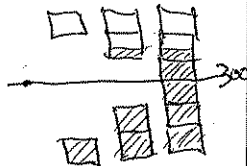
4 (ii) Maimonides' rule (Uniform Gains method; 下タンク方式) による配分を求めよ. 説明は不要.

$$a = (100, 150, 150)$$



5 (iii) 拡張 CG ルール (the contested garment rule を整合的に拡張したもの; 上下タンク方式) による配分を求めよ. 説明は不要.

$$a = (50, 125, 225)$$



問題 7 [14 点]. 状況の集合 $X^0 = \{(c, a) : 0 \leq a < c\}$ 上の比較基準 P を以下で定義する:

$$(c, a)P^+(c', a') \iff a < a'$$

ただし P^+ は P の strict part である (言い換えれば, P が「以上に優先する」を表すなら P^+ は「よりも優先する」を表すということ). すなわち (c の値にかかわらず) a の値が小さいペア (c, a) ほど優先される.

いま, ある要求問題 $((c_1, c_2), a_0)$ の比例配分 (a_1, a_2) が $(c_2, a_2)P^+(c_1, a_1)$ を満たす (したがって $(c_2, a_2)P(c_1, a_1)$ も満たす) とする.

3 (i) そのような要求問題の例を挙げ, 上記の優先順位を満たすことをしめせ. [たとえば $((c_1, c_2), a_0) = ((4, 4), 2)$ などと答えた上で配分を求め上記の優先順位を確認すればよい. ただしこの例では $(a_1, a_2) = (1, 1)$ となる. したがって $(c_2, a_2) = (4, 1)$ と $(c_1, a_1) = (4, 1)$ が等しくなるため, 前者が後者に優先するとはいえない.]

$$a_1 < c_1, a_2 < c_2, a_2 < a_1 \text{ とする例が存在}$$

右と左

$$((c_1, c_2), a_0) = ((4, 2), 3) \text{ とすれば}$$

$$(a_1, a_2) = (2, 1)$$

右 $a_2 < a_1$ と左 $a_2 < c_2$

$$(c_2, a_2)P^+(c_1, a_1) \text{ 成立}$$

3 (ii) $(c_2, a_2)P(c_1, a_1)$ がみたされるとき, 「要求者 1 から要求者 2 へ $\epsilon > 0$ の移転が正当化できる」とは $(c_2, a_2)P^+(c_1, a_1 - \epsilon)$ となることである. 括弧内を適切に埋めよ.

3 (iii) 要求者 1 から要求者 2 へ $\epsilon > 0$ の移転が正当化できるためには, ϵ はどのような条件を満たさなければならないか. $\epsilon > 0$ がみたすべき不等式をしめせ.

$$a_2 < a_1 - \epsilon$$

問題 8 [16 点]. ある駅から A, B, C の 3 人が自宅までタクシーを相乗りするときの費用分担の問題を、協力ゲームのモデルで考える. (各提携の Stand-alone cost を 100 円単位で表す) 費用関数を $c(\cdot)$ とすると,

$$\begin{aligned} c(A) &= 14, c(B) = 20, c(C) = 16, \\ c(A, B) &= 22, c(A, C) = 24, c(B, C) = 30, \\ c(A, B, C) &= 38 \text{ となる.} \end{aligned}$$

(i) このゲームのシャープレイ値による費用配分を、以下の表を完成させることにより求めよ.

Ordering	Amount Received		
	A	B	C
ABC	14	8	16
ACB	14	14	10
BAC	2	20	16
BCA	8	20	10
CAB	8	14	16
CBA	8	14	16
Total	54	90	84
Shapley Allocation	9	15	14

[38]

(ii) 問 (i) で得られた配分 $a = (a_A, a_B, a_C)$ は、ある提携が受け入れない (提携合理性を満たさない) ためコアに入らないという. その配分を受け入れない提携をひとつ挙げよ (ひとつしかない). 受け入れない理由をしめす式も書くこと.

$$c(CAB) = 22 < 9 + 15 = a_A + a_B$$

より 提携 $\{A, B\}$ が受け入れない!!

その代り

$$\begin{aligned} c(A) &= 14 > a_A, \dots \\ c(AC) &= 24 > 9 + 14 = a_A + a_C \\ c(BC) &= 30 > 15 + 14 = a_B + a_C \end{aligned}$$

問題 9 [4 点]. 集合 $A = \{1, 2\}$ の直積 $A \times A \times A$ 上の辞書式順序 \succ が $(2, 2, 2) \succ (1, 1, 1)$ と $(2, 1, 1) \succ (1, 2, 1)$ を満たすとする. この直積に属するすべての要素 (ベクトル) 8 個を、順序 \succ の大きいものから順にすべて列挙せよ. [以下の続きを記入すること.]

$$\begin{aligned} (2, 2, 2) &\succ (2, 2, 1) \succ (2, 1, 2) \succ (2, 1, 1) \\ (1, 2, 2) &\succ (1, 2, 1) \succ (1, 1, 2) \succ (1, 1, 1) \end{aligned}$$